

## 18番 原田 靖 議員

## 1 安全・安心な社会について

## (1) 保護司会活動と「社会を明るくする運動」の推進について

大津市で保護司として長年活動していた男性の遺体が見つかった事件で、保護司制度の有り様を社会全体で考える機会として

- ① 今回の事件を受け、退任やなり手不足が深刻化する恐れがある。保護司の役割や活動を理解するための啓発の機会を提供できないか。
- ② 保護司の面接の場として、公民館など公共施設利用について特段の配慮をお願いできないか。
- ③ 保護司会の主な活動の中に、「社会を明るくする運動」「再犯防止推進」があるが、社会全体の役割という意識から社会運動、市民運動として展開していく考えはないか。

## 2 観光振興について

## (1) かのやばら園について

- ① 今年の「かのやばら園」の特徴と入場者数、今後の誘客促進のための戦略についてどのように取り組んでいくか。
- ② かのやばら園内にある「あじさいロード」には、300種・2,000株と県内屈指のあじさいが咲き誇っている。また、年間を通じて霧島ヶ丘公園は、色々な花を楽しむことができる貴重な資源である。これらを生かして更に情報発信し誘客促進につなげていけないか。

## (2) 鹿屋港の栈橋の完成について

令和2年以降、鹿屋港とマリンポート間の不定期航路が関係企業の協力により実証運航されてきた。同時に、課題も提起されてきた。

- ① 4月、鹿屋港に立派な浮栈橋も完成し、また民間企業による定期航路も近々認可されると聞く。今後観光振興にどのように生かしていくか。

- ② 実証運航を通して、色々な課題も指摘されてきた。クルーズ船の寄港も増加が見込まれ、定期航路が開設されると、歓迎されると同時にツアー造成や二次交通など課題も多い。これらの課題を解決しどのように取り組んでいくか。